



こんにちは、岡田よしひでです

2020年6月14日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.39

自宅 南州市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南州市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

6月定例会、25日開会

県議会6月定例会は、25日に開会します。30日から3日間各会派が質問、7月9日閉会予定です。今回は、中根さち議員が日本共産党代表質問を行います。

新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受けた県内の医療・福祉、暮らしや経営への思い切った支援が引き続き必要です。学生や教育への支援も重要です。また、事態が落ち着いている間に、次の波に備えて検査や医療体制の拡充を図ることが大切です。

一方、政府の支援は、給付金事業の20億円「中抜き」などと疑念を持たれないよう、透明性を確保し、必要なところに迅速に届くようにしていただかなければなりません。専門家委員会の議事録がないとい



新型コロナウイルス調査特別委員会

うのでは、後に検証することもできません。シッカリとした対応を求めます。

濱田知事は、経済の面ではさらなる県政浮揚へIR(カジノ)を含めた統合リゾート)などによる関西圏のにぎわいを高知に引き込むという戦略を立てていました。しかし、新型コロナウイルスの影響で関西圏はもとより全国的に経済は大打撃を受けており、インバウンド(訪日外国人観光客)もすぐには回復が見込めないことから、今後の県政のかじ取りが問われています。

観光の需要喚起のため旅行代金の割引などGOTOキャンペーンを実施しますが、県の特徴を出すのは案外難しい。新型コロナウイルスの影響の長期化を見越せば、地域資源をいかした地域循環型経済を回すことを基本に、外に打って出ることが肝要ではないでしょうか。まずもって、暮らしと営業の回復が急がれます。

感染症に対して脆弱な社会をつくりだした背景に、金もうけ至上主義と格差拡大の新自由主義があります。人や環境が大切にされる経済への転換が必要です。

市独自の支援策

国・県の支援策に加えて、市町村独自の支援を行う自治体が増えています。

南州市では、「商工業者家賃等支援事業」として、3月から4月の売上が直近決算期の平均売上月額額の50%以下の事業

者に地代・家賃額支払い実績の2カ月分(原則4〜5月分)、上限15万円支給、申請期間は7月15日まで。「飲食店テイクアウト対応支援事業」として、2月以降、新たにテイクアウト事業を開始、追加した飲食店に上限10万円、対象経費を補てん、申請期間は9月30日までです。

浜改田の排水対策

南州市浜改田中田地区の排水対策について8日、杉本すじめ市議と一緒に県中央東土木事務所長に合い、住民要望を伝えました。豪雨の際、人家に水が押し寄せることから県は、①24番ゲート(陸開)をふさぐ工事は延期し、先に29番ゲートの工事を行う、②排水路を清掃し秋まで様子を見る、③市が排水路を新設するなら、ゲートをふさぐ工事とあわせて調整を図る、④堤防の階段下の土嚢は無くし踏み台を設置する、と確認。市は対策委員会を設置しています。

おむすび通信 (39)

地方史に詳しいNさんから先日、抄訳、現代語訳『土佐物語』を頂きました。興味があつて吉田孝世著『土佐物語』上・下(一九七六年、一九七八年、金高堂書店)、岩原信守校注『土佐物語』(一九九七年、明石書店)は持っていますが、長くてまじめに読んでいません。一条殿土佐国下向から始まる戦国争乱の物語に再挑戦!